

COMPASS

知る力・想像する力・そしてその先へ



今年度の進路と教育

文部科学省では、Society5.0時代を生きる子どもたちが活躍できる人材になるように、生徒が一人一台の端末を活用して学習する環境の実現に向けて、「GIGAスクール構想」を推進しています。本校でも昨年度からタブレットを授業の中で活用したり、今年度からオンラインの配信による授業が始まりました。それに先駆け茨城県の公立高校では来年度より高校入学時に全ての生徒が、個人で1人1台パソコンもしくはタブレットを用意し、探究活動に力を入れていくそうです。すでに一人一台タブレットを導入している都道府県や私立学校も多数ありますが、今後ますます生徒児童にとってパソコンもしくはタブレットが必要不可欠なものとなり、オンライン上での学習と対面での学習の垣根がなくなっていくことが予想されます。それぞれの良さを生かしながら、うまく共存し合い、より個人の学力や個性に合った、一人一人に適した学習方法が提供されていく世の中になるかもしれません。(提供されるだけでなく、主体的に開発、獲得していく力も求められるかもしれませんね。)海外で生活しているからこそ、より世界の変化に常にアンテナを高く持ち、柔軟に対応していける生徒になってほしいと思います。



バンコク日本人学校校歌

一 もえる太陽 かがやく窓に
あおぐ青空 世界につづく
おどきな希望に 胸をはり
明るく なかよく たくましく
学ぶ われらの
タイ国 日本人学校

二 南十字の 星かげさよく
日ごとたゆまぬ メナムの流れ
はるかなゆくてに はばたいて
明るく なかよく たくましく
のびる われらの
タイ国 日本人学校

三 門校理事長 大田 忠雄 作詞
大田 忠雄 作曲

2021.2.19現在の進学先状況

タイ、その他の国のインター校等	5名
私立(国外早稲田シンガポール・如水館バンコク等)	14名
私立(国内)	52名
公立	1名
国立	1名

※まだ結果の出していない生徒も多数います。

2020年度 9年生の主な進学先

9年生の進学についてですが、現時点で多くの生徒の進学先が決定しております。9年生の入試は10月からの帰国生入試を始めとして、3月中旬まで、都道府県の公立受検が続きます。現時点での進学状況をお知らせいたします。7, 8年生が、これから具体的な進路先を決める際の参考になればと思います。

今年度はコロナ禍ということで、例年行われていた海外入試が軒並み中止となりました。日本国内の入試においても急遽面接がなくなったり、面接方法が変更になったり、受験日の必ず2週間前には日本へ入国していることが条件づけられたりと、直前まで変更があり、常に最新の情報を各自で確認する必要があります。

受験情勢としては、昨年同様大学附属の高校への希望者が増加しており、受験競争率も高まり、難化している傾向にあります。例年通り、公立高校希望者も一定数ありますが、私立、公立共に9年生の多くが帰国生受検/受験、帰国子女枠を利用した受験となりました。今年度の本校の大きな特徴としては、日本、タイ以外のシンガポールなどへの進学を希望する生徒は減少しました。やはりコロナ禍とい

うことで、生徒のみ海外で生活させることへの不安や、自由に渡航できないことなどの不安から、減少したようです。その一方でコロナ禍でも一切影響を受けなかったN校、S校のような通信制の学校への需要も高まっています。また、オンライン入試なども増え、例年バンコク日本人学校からはあまり受験されていなかった高校への受験も増加しました。

9年生の保護者の皆さま、この1年間は海外からの入試にコロナ禍にと多くのご苦勞があったことと思います。7, 8年生の保護者の皆さまにも、できる限りの情報提供をさせていただきました。進路は何よりも情報収集が大切です。中学部棟4階進路指導室には進路情報誌や学校パンフレット、過去問題集などありますので、今後もご活用いただければと思います。

1年間ご理解、ご協力を本当にありがとうございました。

